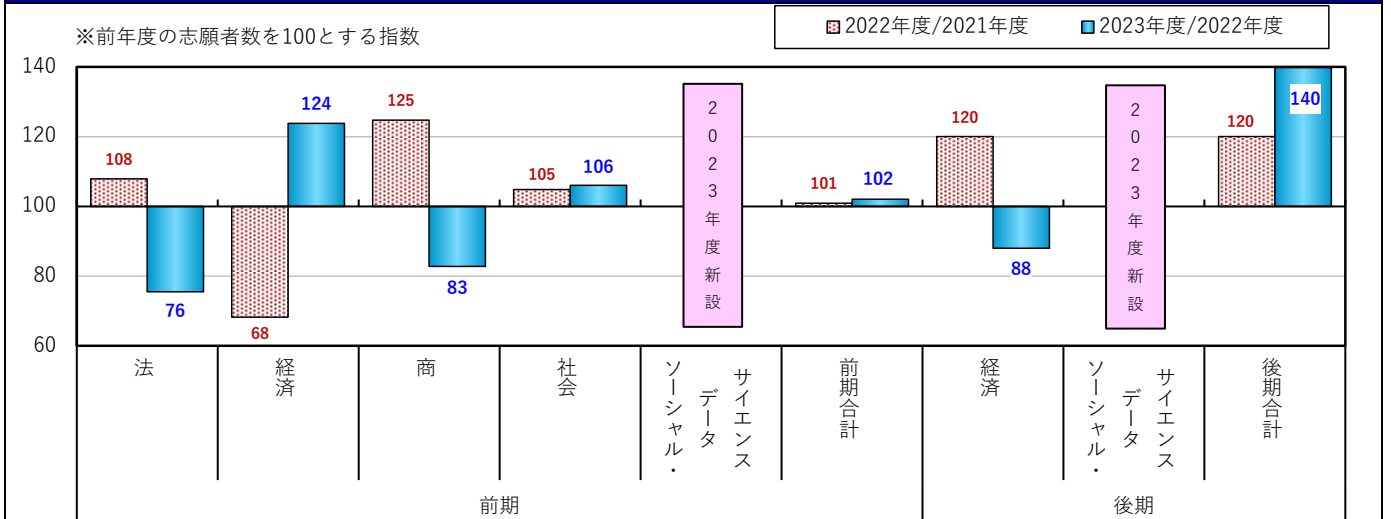


一橋大：ソーシャル・データサイエンスの新設で、前期は微増、後期は大幅増加 前期：+53人 後期：+495人



主な入試変更点	学部新設：ソーシャル・データサイエンス…<前>30人、<後>25人 募集人員：法…<前>160人→149人 経済…<前>200人→185人、<後>60人→58人 商…<前>260人→243人 社会…<前>225人→210人
----------------	---

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は53人(102)の微増で3年連続増加。新設のソーシャル・データサイエンスを除いた既存の4学部では(95)のやや減少だが、募集人員が7%減少したことにより志願倍率は3.1倍→3.2倍にアップ。後期は従来からの経済にソーシャル・データサイエンスを加えた募集となり、495人(140)の大幅増加。募集人員の増加率38%を上回った。ただし、ソーシャル・データサイエンスを除いた経済のみとの比較では(88)の減少。

- <前期日程>
- 法(76)は、3年連続増加の反動で大幅減少。募集人員は7%減少したが、志願倍率は3.5倍→2.9倍にダウン。
 - 経済(124)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。募集人員は8%減少で、志願倍率は2.4倍→3.3倍にアップ。
 - 商(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。募集人員は7%減少したが、志願倍率は3.4倍→3.0倍とダウン。
 - 社会(106)は、2年連続やや増加。志願者数は3年ぶりに700人を上回った。募集人員は7%減少で、志願倍率は3.2倍→3.6倍にアップ。
 - 新設のソーシャル・データサイエンスは、募集人員30人、志願者数182人で、志願倍率は6.1倍。前期全体の志願倍率3.3倍を上回り、5学部中最も高い倍率。
 - 志願倍率の基準による第1段階選抜は、経済、商、社会、ソーシャル・データサイエンスで実施され、それぞれの合格率は92.2%、99.6%、88.5%、51.6%。4学部では新設のソーシャル・データサイエンスが最も厳しく、志願者の半数近くが不合格となった。

- <後期日程>
- 経済(88)は、前年度大幅増加の反動で減少。志願倍率は20.7倍→18.9倍にダウン。
 - 新設のソーシャル・データサイエンスは、募集人員25人、志願者数644人で、志願倍率は25.8倍で、経済を上回った。
 - 志願倍率の基準による第1段階選抜は、経済とソーシャル・データサイエンスで実施され、それぞれの合格率は74.0%、71.0%。